

## 育もう教育と文化

## 令和6年度活用報告

教育応援分 795 千円 (軽井沢風越幼稚園)

軽井沢風越幼稚園は、2020 年 4 月に開園した幼稚園です。義務教育学校である軽井沢風越学園と校舎を一つにし、3 歳から 15 歳の子どもたちが異年齢の関わり合いを大切にしながら、じっくり、ゆったり、たっぷり、まざって、遊ぶ／学ぶ体験を積み重ねています。59 名（2024 年 3 月末時点）の園児は、雨の日も風の日も、一年を通じて野外で生活しています。

今回のふるさと寄附金のご支援は、森と校舎に挟まれた園庭環境の充実を目的として、子どもたちが日々を過ごす環境づくりと、その学びを支える職員の育成に取り組みしました。環境整備では、開園前のサマースクールで参加者と共に建てた小屋「風越山荘」を学園敷地内へ移設し、園児の遊び場として活用しているほか、パーマカルチャー・デザイナーの四井真治さんをパートナーに迎えて屋外環境を整える川のワークショップを行いました。さらに、園児のフィールドである森の整備で伐採された樹木を活用するためウッドチップを導入し、つくられたウッドチップを園庭の整備に役立てるとともに、日常的な風雨や日射対策としてタープテントを整えました。

職員研修では、小西貴士さんを講師に迎え、風越では「自然の中で子どもの何が育っているか？」をテーマに学年ごとに子どもたちのエピソードをまとめながら全 5 回の研修を重ね、清里では研究テーマをもとに講師とともに森に入り、インタープリテーションについての学びと 1 学期の保育の振り返りを行うことができました。

子どもたち一人ひとりの成長を丁寧に見守りながら、日々の幼稚園運営に努めて参ります。多くのご支援をいただいたこと、心より感謝申し上げます。どうぞ今後ともよろしくお願い致します。



教育応援分 1,985 千円 (森のようちえんぴっぴ)

自然豊かな軽井沢で2007年4月に小さな一歩を歩み出した森のようちえんぴっぴ。園舎がないぴっぴの子どもたちは、雨でも雪でも一日中、森の中で夢中になって遊んでいます。物が無い分、たっぷり関わり、たくさん困って、たくさん工夫して…が日常です。

ぴっぴの暮らしの中に焚き火は日常光景で、特に晩秋から初夏は、暖を取ったりランチ時に焼いたり温めたり…焚き火の周りで語り合っています。薪はなくてはならない暮らしの中のひとつで、子どもたちは焚き付け用に割ったり、運んだり、火をおこしたりをしています。薪小屋を作らせて頂けることは本当に有難いことです。

ぴっぴ入園希望の方が増えているここ数年、在園数も増えています。園舎がありませんので、荷物置き場は荷物を置くだけではなく、雨を凌ぐ、お昼寝場所になる…あらゆる天候の中で大切な場所になります。荷物置き場増設は暮らしやすくなり、嬉しいことです。

多くの皆さまからのご支援に心より感謝申し上げます。これからも子どもたちの生きる力を育む「ぴっぴの森」を守っていききたいと思います。機会がありましたら、ぜひ、ぴっぴの森にいらして、伸びやかな子どもたちと過ごし、心込めて調理しているランチを召し上がって頂けたら、と思います。今後ともよろしく願いいたします。



## 【教育振興事業】

東信教育事務所よりニュースポーツの「テニピン」のラケット40セットをお借りして、令和6年10月31日～11月22日に、3年生～6年生の「ネット型スポーツ」の体育学習に活用しました。

今後の体育学習や学級活動に活用するためにテニピンラケット（2個一組を17セット）、ボール（12個入り1セット）を購入しました。

3年生～6年生の体育の学習では主に2学期に使用する予定です。

1年生、2年生の学級活動としては、年間を通して使用する予定です。



## 【軽井沢伝統工芸品卒業制作・学習】

町の伝統工芸品である「軽井沢彫」の歴史を学習し、実際に作成することで地域の伝統工芸品への愛着と理解を深めるために「軽井沢彫 大阪屋」の職人の方2名を2日間お招きし、学習と彫り、塗料の施工を教えてくださいました。

児童は職人さんに彫りの深さや角度などを確認しながら自身の彫りを天板へ施し、全体3色の塗料の中から選んで、塗っていました。

自分たちで卒業品として作品を仕上げていく中で、自分たちの郷土についての思いを深めることができました。



軽井沢風越学園は、2020年4月に開校した義務教育学校です。軽井沢風越幼稚園と校舎を一つにし、3歳から15歳の子どもたちが異年齢の関わり合いを大切にしながら、じっくり、ゆったり、たっぷり、まざって、遊ぶ／学ぶ体験を積み重ねています。義務教育学校では、前期課程（1年生～6年生）158名、後期課程（7年生～9年生）61名、合計219名（2024年3月末時点）の児童・生徒が在籍しています。

今回のふるさと寄附金のご支援は、多様な子どもたちの学びを継続的に支えるため、「授業料等減免制度」の原資として活用させていただき、2024年度は37名の子どもたちの授業料等を減免することができました。制度利用者数は増加し、過去最多となります。

子どもたちが自分の未来を自分で決めていくことができるよう、その成長を見守りながら、日々の学校運営に努めて参ります。多くのご支援をいただいたこと、心より感謝申し上げます。どうぞ今後ともよろしくお願い致します。



教育応援分 142 千円 (軽井沢高等学校)

### 学校ホームページの運営

令和5年度に改修した本校ホームページの継続運営により、本校の特長である軽井沢町学習センターや探求学習等を紹介する入口を掲載するほか、行事等タイムリーな発信ができました。

### 生徒進路用雑誌の購入

進路用雑誌の購入により、教員が生徒を指導するための情報収集や、生徒が進路を決定するうえで参考となりました。

### テント購入

夏季の学校行事でテントが不足していると思われたため、今後の行事等対応のためテントを購入しました。

今年度は行事日の変更により使用は限られましたが、クイックテントを購入することにより女子生徒や少人数でもテント設営ができるようになりました。



教育応援分 446,954 千円 (ユナイテッド・ワールド・カレッジ ISAK ジャパン)

UWC ISAK は世界中の高校 1～3 年生を対象とした、国際社会で変革を起こせるようなチェンジメーカーを育成する全寮制国際学校です。2017 年 6 月に初めての卒業生を送り出し、同年 8 月には「世界の平和と持続可能な未来を実現するために、教育の力で世界の人、国、文化をひとつにする」ことをミッションに掲げ、50 年以上の歴史を持つ国際的な民間教育機関である United World College に正式に加盟しました。2024 年には、世界 89 カ国から集まった約 200 名（新学年開始時点）が、国籍だけでなく社会経済的にも様々なバックグラウンドの違いを乗り越え、たくさんの刺激を与えています。

ふるさと納税を通じたご支援のお蔭で、今年も半数以上の生徒に対して、それぞれの経済状況に応じた奨学金を給付することができますことを、皆様に改めて御礼申し上げます（ふるさと納税を含む全体では、約 7 割の生徒に奨学金を給付）。能力とやる気があり、強い目的意識をもつ全ての若い人達にチャンスを与えられる学校になるために、皆様からお預かりしたご寄附は今後も大切に奨学金基金として使わせていただきます。

これからも、地域社会に貢献しながら、新たなフロンティアに臨み、時代を切り拓いていく生徒たちを育成できますよう努力を重ねてまいります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

写真等



**【医療・健康研究とこれを通じた教育】**

軽井沢町在住の方の認知症・フレイルの有病割合や発生率を明らかにするための、「軽井沢健診」を実施しました。得られた住民データは、今後、学際的研究を通じて、認知症の要因分析・健康政策への提案に結実することが期待されます。

そして、この「軽井沢健診」は、「医療データと AI の関係」に着目する形で、講義の題材としても取り上げられました。

**【AI 教育・研究】**

地域課題を AI で解決するための人材育成・事業創出を目的とする、軽井沢における種々の授業を実施するためにも活用しました。

軽井沢において行われた合宿では、集中講義・フィールドワーク・グループワーク等の中で、学生のアイデアがブラッシュアップされていきました。

**【まちづくりへの応用】**

軽井沢町の地域課題を実際に解決するための方法を検討するためにも活用しました。

具体的には、ドローン配送による交通量削減や、ドローンによる緊急時の遠隔医療等を通じて、常に渋滞問題を抱える軽井沢町の現状が改善され得るという提言を行いました。そして、ドローンの利活用を最適化するためには、AI を活用することが有効であるため、学生も参加する形で、AI を用いたドローンの実証実験を実施しました。

